



「見たり、聞いたり、探ったり」No.222

通算 No.374

青 木 行 雄

災害を乗り越えて 「大分県中津市」(ディナーコンサート)

2018年7月もまた各地で予期せぬ豪雨で、堤防の決壊など多くの水害が発生し、多くの尊い人命が奪われた。特に西日本の広島県、岡山県、愛媛県の雨量は最も多く大変な被害が発生した。

日経新聞報道によると、(2018年7月20まで)西日本豪雨の広島県、岡山県、愛媛県の被害状況を見ると死者全国225人(広島113人、岡山61人、愛媛26人)

避難者全国4,592人(広島1,207人、岡山2,808人、愛媛471人)

住宅被害全国39,009棟(広島6,568棟、岡山14,226棟、愛媛6,810棟)

農林水産被害も拡大が続き、2018年7月20日時点で768億円にものぼり、被害額はますます増加している。

この大災害の2ヶ月前、2018年4月11日、私のふるさと、大分県中津市耶馬溪町金吉で今までに例のない土砂崩れが発生し、住宅4棟が巻き込まれ、6人の尊い人命が奪われた。毎日安否の報道がテレビ・ラジオで報道された。その内、中津市内の料亭まで大丈夫ですかと電話が2～3かかり、中津市全体が危険視されるまでにいたった。昨年、中津市から玖珠町まで、日本遺産に認定され「やばけい遊覧」―大地に描いた山水絵巻の道をゆく―

こんなタイトルで日本遺産の認定を受け、観光客も徐々に増加していた。これからと言う矢先の出来事である。

2017年7月に中津市がこの認定を受け、観光に益々力を入れようとしていた時に、私が作詞した「美しき山国川」「温泉大分日本一」(作曲：梶原豊樹、歌：芹洋子)が完成し、キングレコードより全国発売となった。「美しき山国川」は耶馬溪そのもので、山国川がなくなると耶馬溪の景観は生まれない程、切っても切れない存在である。

こんな事から、祝・日本遺産認定・「やばけい遊



耶馬溪の土砂崩れの現場。地震もなく、水害でもなく、山崩れがあった。まだ原因は不明だが6人の尊い人命が奪われた

覧」として、2017年9月頃から、ふるさとへの熱い思いから大々的にお祝いを中津市で打ち上げたいと計画を始めたのである。

完成した、「芹洋子」の歌、「美しき山国川」と「温泉大分日本一」のCDを持って、中津入りし、観光に役立てたい、こんな思いから、会場や協力者にお願いなどかなり進んでいた矢先に「耶馬溪町」の災害が発生したのである。

毎日の報道に現地の協力者から今だったら中止が出来るだろうからやめたらどうかの電話を2～3人からもらった。

そのうち、観光客も減少し、風評被害も出始め、このままだと大変なことになるのではと判断した。

そこでこの風評被害をなんとかして阻止するために、決行を決意したのである。

そして、中津市長、中津商工会議所会頭にも相談し、大分合同新聞社にも後援をお願いした所、心よく引き受けていただき、計画実行が始まった。

そして、会場・中津駅前の会場「ヴィラルーチェ」に予約し、集客に紛争する。

チケット販売にも、中津市、中津商工会議所の協力を得て、着々と進めていった。

中津市長宛てのお願い（文面）

奥塚中津市長

この度の中津市耶馬溪町山崩れ災害重ねてお見舞い申し上げます。

毎日の報道に中津市耶馬溪町全体が危険のように思われ、風評被害は進行中と思われます。今こそ「中津は大丈夫」ですと発信する時ではないかと思われます。

東京から25名の観光客を、「やばけい遊覧」に2泊3日でお連れする事が決まりました。

いろいろとご迷惑もかけますが、よろしくお願い申し上げます。

平成30年5月1日 青木行雄

こんなことで会場の「ヴィラルーチェ」辻支配人、司会の相良アスカ氏の大変なご協力もあり、今日を迎えることになった。

またここ何年か災害の多かった大分県、以前からふるさと大分の為に少しでもお役にたちたい、お手伝いがしたいと考えていた。今回のディナー



山国川には石橋が数十ヶ所あるが、中でも8橋は円形が8つ、日本でも珍しい橋で重要文化材になっている



知事応接室にて会見する。左から、広瀬大分県知事、青木、芹洋子、梶原氏、後方にはマスコミと職員が40人程いた

ショーで中津入りする前に大分県庁へ立ち寄り、
広瀬知事に表敬訪問して、私の趣旨を伝えたいと
申し出たところ、7月13日30分程の会見の時間を
頂くことが出来た。

そして大分県事務所から分刻みの予定表が届いた。

こんなことから2018年7月13日午前8時に羽田
を出発した。

「7月13日(金)スケジュール」

- 11:00 大分市内到着
- 12:30 大分合同新聞社着・打ち合せ
- 13:00～13:30 大分合同新聞社訪問
- 14:00～14:40 TOSテレビ大分訪問、録画
- 14:55 大分県庁到着
- 15:10 企画振興部長室訪問
- 15:20 知事室へ第一応接室移動
- 15:40～16:00 知事表敬訪問

※ 知事表敬訪問の明細

訪問者の名前

青木行雄 (作詞家)
芹 洋子 (歌手)
梶原豊樹 (作曲家)

次 第

青木行雄 報告
芹 洋子 「温泉大分日本一」
「美しき山国川」 知事室にて、歌唱
梶原豊樹 コメント
青木行雄 広瀬知事にCDの贈呈
広瀬知事 謝辞
記念撮影
終了



知事室にて熱唱する芹洋子にNHKのカメラが写す。知事も手拍子をたたく



広瀬知事と談笑する芹洋子、「温泉大分日本一」を広めたいと知事へお願いする



広瀬知事へCDを贈呈する3人。記念撮影、「温泉大分日本一」「美しき山国川」

地方版ではあるが、この様子が7月13日午後6時10分からのNHKニュースに2分3秒放送された。3回も出たようだ。知事室で歌唱したのは前代未聞のようだった。

この知事訪問は県事務所の佐藤伸浩氏に大変お世話になり、感謝でいっぱいである。

そして翌日2018年7月14日中津入りし、いよいよ「芹 洋子ディナーショー」の開催となった。

当日のスケジュール、

1. 開 会 司会 相良アスカ氏、PM6:00
2. 黙 祷
3. 奥塚中津市長 挨拶
4. 仲商工会議所会頭 挨拶
5. 3人登壇 「芹洋子、梶原豊樹、青木行雄」
6. 来賓者紹介、祝電披露
7. ディナータイム PM6:20
8. 芹洋子ショータイム PM7:20
9. 「温泉大分日本一」の時、踊り子が入場
他 13曲歌う
10. 花束贈呈
11. 閉会の辞 挨拶 青木行雄
12. 閉会 PM8:30

挨拶・ディナータイムが終わり、いよいよショータイムが始まる。会場の後方より、歌いながら、スポットライトを浴びて芹は入場して来た。歌った曲は持ち歌13曲程だった。「美しき山国川」をシンミリ歌い上げた時、私は耶馬溪の田舎育ちで当時耶馬溪鉄道と言う地方の小さな鉄道で高校3年間中津市まで1時間かけて通学し、今は廃線とならないが、山国川のほとりを走る、この風景が脳裏に媚びりついている。その景色を思い出しながら作詞したが、芹洋子が美声でしみじみ歌ってくれた。薄暗い会場の雰囲気は熱気にあふれ拍手喝采であった。会場の中間壁際に私と作曲家の梶原氏は様子を見ながら、この雰囲気につっぷり吞まれていた。そして思わず涙があふれてきた。その時の自分の気持ちは文面にはあらわせないが、隣の



大分県JR中津駅、翌日早朝撮影



ディナーショーのあった中津駅前の「ヴェラルーチェ」、翌日早朝撮影



熱唱する芹洋子、会場いっぱいの観客の中で歌う

梶原氏を見たら、メガネを外し、ハンカチで目頭をふいていた。やっぱり、作詞と作曲は同じ気持ちなのかとつくづく思ったしだいである。

そして閉会でお礼の挨拶として

感謝の挨拶（ディナーショー）

本日は最後までご参加頂き、心から感謝申し上げます。

あちら、こちらと大変な水害が発生し尊い命を無くし、いたたまらない心境ですが、そして4月には耶馬溪土砂災害も発生し、この開催に大変不安もありました。思いきって実行いたしましたところ、中津市、商工会議所、大分合同新聞社等のご協力も頂いて、本日の盛況を見ることが出来ました。それに東京アサヒ会の皆様、熊本、大阪からも応援を頂き、また宇和島から早川様も来て頂きました。明日「やばけい遊覧」の観光を市役所のご案内でさせていただきます。この会が少しでも中津耶馬溪の風評阻止のお役に立てれば幸いに思います。今日はテーブル着席順やその他の不行届き点、誠に申しわけありません。本日はご参加の皆様、誠に有難うございました。そして中津市の益々の繁盛とご参加の皆様のご多幸を心から祈願申し上げ、青木からの御礼の言葉と致します。本日は誠に有難うございました。

平成30年7月14日 青木行雄

閉会の前、再度「美しき山国川」を皆で大合唱し、割れんばかりの大拍手をもらった。このショーは大成功だと感じた。そして少しでも、中津耶馬溪に有利な影響があたえられるよう祈った。この時もまた目頭が熱くなった。

かつてない大水害、かつてない猛暑、かつてない予期せぬ土砂被害、かつてない逆走の台風等々、想定外の自然被害に驚くばかりだが、これも人間が今までやってきた行為に対する試練かも知れないと思う。



3人（芹・梶原・青木）が舞台に立つ



熱気につつまれた会場で熱唱する芹洋子本人も大変気分よく歌っていた



「温泉大分日本一」の曲に合わせて踊る、14人の踊り子の皆さん

いろいろ反省する事も沢山あるが、一つの事を完成させる為に実行するには、大変なエネルギーが必要であることもわかった一方で、誰かの為に一生懸命にやっていれば、人は助けてくれることがよくわかった。

私は大変幸せいっぱいであることをつくづく感じ、感謝でいっぱいである。

平成30年7月29日 記

参考資料

日経新聞社



群猿山 深耶馬溪の代表的な景勝地

出所：<https://www.city-nakatsu.jp/categories/kanko-navi/>